

## 財 産 目 録

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得 年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金	手許現金有高 筑邦銀行荒木支店普通預金他	—	運転資金として	—	—	23,287,914
事業未収金	委託費等	—		—	—	973,550
未収補助金	保育所等運営費補助金	—		—	—	492,225
立替金	経費立替	—		—	—	1,994,219
流動資産合計						26,747,908
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
建物	安武町武島773-1他		第2種社会福祉事業である、安武 保育園の保育事業に使用している。	245,588,801	50,982,751	194,606,050
定期預金	筑邦銀行荒木支店定期預金	—	寄付者により保育園事業に使用する ことが指定されている。	—	—	1,000,000
基本財産合計						195,606,050
<b>(2) その他の固定資産</b>						
建物	安武町武島773-1他		第2種社会福祉事業である、安武 保育園の保育事業に使用している。	7,594,000	3,827,064	3,766,936
構築物	門他14点	—	第3種社会福祉事業である、安武 保育園の保育事業に使用している。	9,895,992	7,130,860	2,765,132
車両運搬具	ハイエースワゴン他2点	—	第4種社会福祉事業である、安武 保育園の保育事業に使用している。	4,349,998	4,229,634	120,364
器具及び備品	エアコン他37点	—	第5種社会福祉事業である、安武 保育園の保育事業に使用している。	11,087,245	9,933,147	1,154,098
権利	敷金	—		—	—	225,000
人件費積立資産	筑邦銀行荒木支店普通預金	—	将来における人件費支出に 備える為積立をしている普通預金	—	—	10,000,000
その他の固定資産合計						18,031,530
固定資産合計						213,637,580
資産合計						240,385,488
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	給食費他	—		—	—	2,497,242
1年以内返済予定 設備資金借入金	筑邦銀行荒木支店	—		—	—	996,000
職員預り金	源泉所得税等	—		—	—	223,476
流動負債合計						3,716,718
<b>2 固定負債</b>						
設備資金借入金	筑邦銀行荒木支店	—		—	—	6,617,000
固定負債合計						6,617,000
負債合計						10,333,718
差引純資産						230,051,770

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。

なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。

- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。

また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。

- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。